

第6回 JICA-JISNAS フォーラム

「農林水産分野における戦略的な途上国人材の育成：JICA-大学の協働による研修・留学プログラム」 (2017/12/15 開催) アンケート結果

先般、標記フォーラムのご参加ならびにアンケートにご協力をいただきありがとうございました。

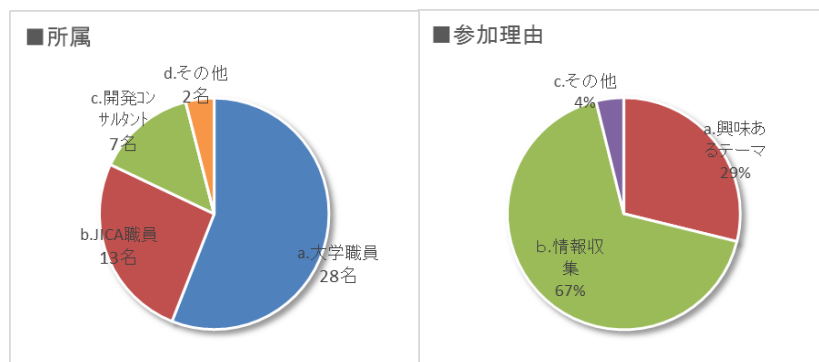
いただきましたご回答は、次回のフォーラムに向けての方向性、ならびに今後のよりよい活動、情報提供のための参考資料させていただきます。

アンケートの集計結果を一部ご紹介させていただきます。

1-2. 参加者の所属及び参加理由

(回答数 50)

今回のフォーラムは大学教員や事務担当者の方々が最も多く、また、JICA や開発コンサルタントや国際機関の方にもご参加いただいた。今後、AGRI-Net プログラムの概要、留学生受入について関心を示して頂いたと思われる。

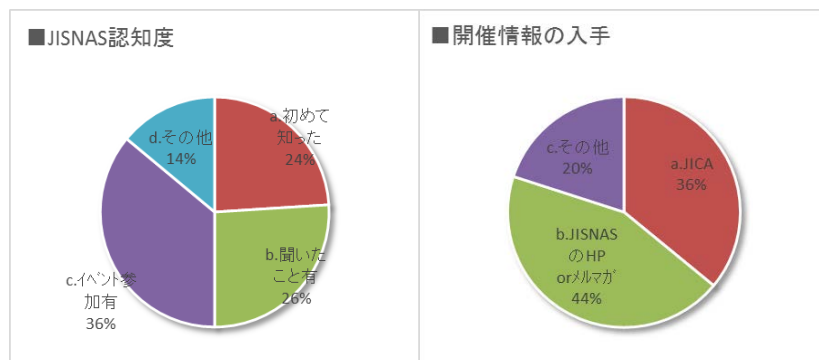


3-4. 開催情報の入手方法及び

JISNAS の認知度

(回答数 50)

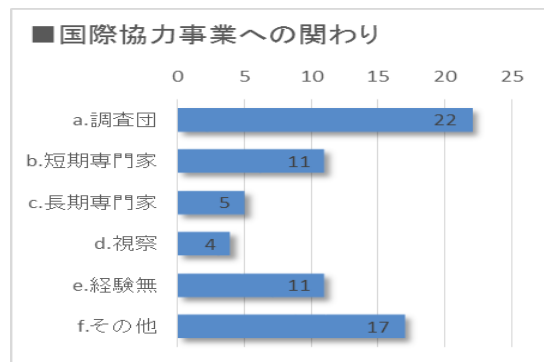
開催情報については、学部長会議を通じて、大学教員や大学のメールで知っていた方も多かった。JISNAS について、今後セミナーやフォーラムを通じてより知っていただく為に、団体会員の担当者だけでなく、多くの皆さまにホームページ等活動を知っていただけるよう心掛けたい。



5. 農業分野の国際協力事業の関わり

(複数回答)

農業分野の国際協力事業に関わった経験を持っている参加者が多く、その他には大学での研究、青年海外協力隊、行政として、企業のプロジェクトの一環として等、農業分野において、多方面に渡り国際協力に関わっていることがわかる。

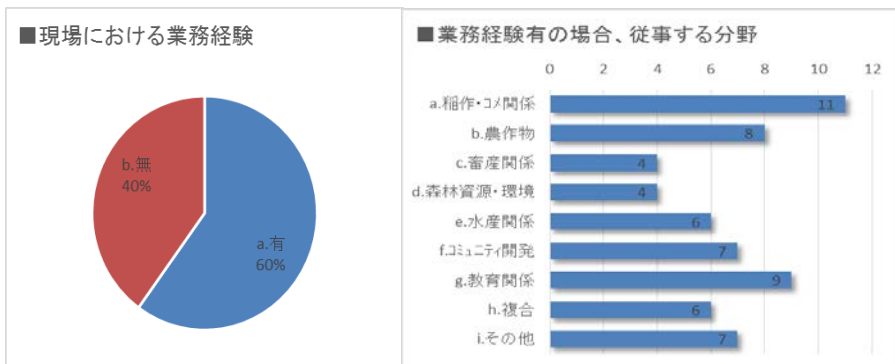


6. 農業分野の国際協力事業における現場(裨益国)の業務経験 (回答数 50) (従事する分野は複数回答)

アンケートいただいた参加者の 6 割の方が現場の業務経験があり、具体的には稲作、農作物、教育関係に多く従事されている事がわかる。

その他には複合、コミュニティ開発、水

産、森林、畜産関係、その他では農業機械、ポストハーベスト、農業用水管理、食品加工、栄養不足等が上げられた。



7. JICA の研修・留学事業に対して

<ご質問・期待・ご要望等>

(大学)

- ・選抜方法等を国費留学生のように、もう少し大学に任せてもらえないか。
- ・他国でのやり方との比較が必要と考える。
- ・開発大学院構想、新留学生プログラムの整理、JICA としての報告性を示してほしい。
- ・JICA 事業は、ある程度組織の大きい大学しか参画できないように思う。プログラムによって門戸を広げてもらえるとうりがある。
- ・他大学、農林水産分野(生命科学)以外との連携ができればと期待している。
- ・留学中の研修実施をスムーズにできるスキームを作してほしい。
- ・「新留学生プログラム」制度に関する情報を JICA の HP に詳細に公表してほしい。
- ・地方創生の意味からも、可能な限り、地方大学にチャンスを与えてほしい。
- ・新規の参加がよくわからない、入口が不明、という大学が多いのではないかとと思う。
- ・JICA 開発大学院について教えてほしい。
- ・日本の学生を取り込める形、もしくは大学の授業(集中講義)との共同プログラムの形態で実施できると、よりスムーズに大学のプログラムとして実施が可能になる。
- ・今回提供していただいた AB 判資料が HP からダウンロードできれば良い。
- ・研修事業にメンバーとして参画したい。
- ・学位プログラムへの対応にあたり、重点分野、対象国の具体的情報を提供いただけると有難い。

(JICA)

- ・日本全体としての統一的な実施。そのための情報共有の促進。
- ・特に研修(課題別)の改善において、JISNAS の先生方のお知恵を伺いたいと感じている。

(コンサルタント)

- ・JICA の他スキームと連携できれば良い事業になると思う。
- ・民間部門を呼べる工夫が必要と考える。
- ・JICA の研修・留学事業は、とりわけ途上国の人材にとって大きな意義を有しており、それを戦略的に計画・実施していくことは非常に重要な事だと思う。

(その他)

- ・新留学生プログラムが、有機的に、JICA の各プロジェクトと連携していけるような工夫が必要だと思う。
- ・大学が来日中の管理や人材の募集、選考が出来るのか不明。
- ・文科省事業を含めた体系化が重要。

8. 第6回フォーラムの開催内容

<ご意見・コメント等>

(大学)

- ・特に JICA 関係者と大学側が直に意見交換できる機会は双方にとって貴重。
- ・九州大での具体的な事例報告がたいへん参考になった。
- ・契約や予算執行について、JICA 側と意見交換するのであれば、各大学、研究科の事務職員の参加をもっと促すべきではないかと思った。
- ・ビデオ会議でも参加可能な会があったら良いと思う。
- ・JICA の研修・留学事業を俯瞰することができた。

(JICA)

- ・意見交換の時間が短すぎた。
- ・特に、緒方先生のご講演で、大学側のご苦勞や、事業を進める上での留意点が良く理解できた。
- ・留学生事業を ODA 戦略に位置付けていく上での良いきっかけになった。
- ・途上国の人材育成に関して、大学と JICA の双方の意見が聞けて良かった。

(コンサルタント)

- ・JICA の農業開発・農村開発分野での方針、研修に対する姿勢がよく理解できた。大学との連携についてもわかり、今後、研修員の中から研究向きの人材を見極め、JISNAS の協力を得て、人材の育成に協力したい。
- ・大学側の受入体制について(負担等)共有させていただき勉強になった。
- ・限られた時間の中で密度の高い内容を提供下さり大変勉強になった。

(その他)

- ・日本人の若手人材を今後育成することも大事なので、JICA-JISNAS の枠組みの中で、将来どんなことが出来るのか、必要なのか、これから議論を続けて欲しい。

10. JICA・JISNAS へ質問・要望等

<質問>

留学生受入や制度、研修→留学によって選抜された留学生は何割程度を予定しているか？つまり研修過程を経ずに apply した時の採択の可能性は？(大学)

<期待・要望>

(大学)

- ・JICA より各大学への連絡が未だバラバラに届くので、どのプログラムが誰を窓口としているのか、リスト化してもらえるとありがたい。
- ・有用な情報発信の頻度をますます増やしてほしい。
- ・JICA と文科省 or JASSO 連携による大学の強み、特色の把握。
- ・社会実装の一例として企業が求める(に期待される)JICA、JISNAS の役割。

(JICA)

- ・国内外の人材育成の強化での協力。
- ・今後、研修員の受入れ先等も参加頂くと効果的ではないか。
- ・JICA の各プロジェクトや JICA 本部の担当者が、JISNAS メンバーの大学関係者と意見交換できる場をもっと設けても良いのではと感じた。
- ・本フォーラムは継続することが必要と感じた。

(コンサルタント)

- ・ぜひコンサルタントを活用いただきたい。
- ・今回のテーマでも、まだまだ議論すべき点は多くあると思うので、一回きりではなく、継続的に意見交換できる場があると良いと思う。

11. 次回 JICA-JISNAS フォーラムの議題に対する要望

- ・緒方先生の講演のように、事例を共有いただけると、今後の参考になってありがたい。(大学)
- ・大学における日本人・留学生教育の現状と課題-大学から JICA に期待(要望)すること-(JICA)
- ・JISNAS の各大学を卒業した留学生が、その後、どのような進路を進んでいるか等、進路の課題についてお話を伺えればと思う。(JICA)
- ・日本の若い世代の人材育成について(JICA、その他)
- ・よりテーマをしばって議論しても良いのではと思う。(地域別⇒アフリカ、中東、東南アジア等、テーマ別⇒稲作、灌漑等)(JICA)
- ・文科省関係者との意見交換(大学)
- ・JICA のシステムで来日中の留学生の生の声を聞きたい。(日本の農学教育について等)(大学)